

世界の舞をもう一度！（総会に参加出来なかった方へ）

安来節に華を添えるコミカルな舞は、酒盛りでのほろ酔いが生んだ偶然の奇跡

安来節の原形「七七五調の節」は、元禄時代、安来地方の自然と素朴な人情の中で培われたといわれ、安来節と共に生きてきた「どじょうすくい踊り」の由来は江戸時代末期に遡ります。

いつの時代でも「飲ン兵衛」というものが居り、安来の郷でもご多分に漏れず、ドブクロ徳利を後生大事に抱えた「飲ン兵衛」達が、近くの小川で捕ってきた泥鰌を肴にいつもの酒盛りを始めた時、ほろ酔い気分も手伝ってか、その泥鰌を掬う仕草を安来節に合わせて即興的に踊ったのがその始まり。

どじょうすくい男踊りは、小川でドジョウをすくう様子を表現した「どじょうすくい踊り」。踊り手は豆絞りの手ぬぐいを頭に、腰にはビクを付け、ザルを頭に乘せ登場。正面を向いてにっこりした顔には鼻に銭が・・・鼻に銭をつけるのは、農民が殿様に納める野菜を食べてしまい侍に鼻をそがれたからという言い伝えも。ユーモアと人情味が特長です。



ここ5年、毎年東京に試験を受けに行っていて、今年有段者となりました。福島県では初。教室の先生からは、「この教室からついに有段者が出たなあ〜」と。



See You  
Next Time

# 「某大学応援団同行記」

佐藤賢一



昨年の秋、たいへん得難い経験をしました。毎年、10月に全日本大学女子駅伝が仙台で行われていますが、ある大学の応援団に同行する機会を得たのです。

いきさつはこうです。退職をした年の夏に、わたしはかみさんの許可を得て某大学の学芸員養成講座を受講しました。なかに学芸員実習という講義があるのですが、その先生のお一人が大東文化大学応援団の顧

問だったのです。わたしの実習グループは妙に纏まりがよく（ただ飲みただけなのですが）、卒業（？）後も年に2度くらい集まっては同窓会を開いています。わたしは仙台くんだりからそれに参加する訳です。先生が「今年の駅伝終了後に佐藤さんと飲みたいのですが、いっそのこと昼間から応援団のバスに乗って、一日行動を共にしませんか」ということになったのです。

.....



待ち合わせは宮城野の陸上競技場。各大学の応援団は、通常の観客席のスタンドの反対側の芝のスタンドに陣取って、スタート前の応援合戦をするのです。

応援合戦は11時に始まって、駅伝スタートの12時までほぼ1時間行われます。テレビにも放映されない地味な時間ですが、学生たちは真剣そのものでなかなか見応えがあります。（ちなみに学生たちは、貸切のバスで夜を徹して走ってきて、一日応援をしてまた夜行で帰るといふ強行軍です）



大東文化大の隣りがたまたま東京農大で、チアガールはいなくて学ランのお兄ちゃんだけなのですが、例の有名な「だいこん踊り」を間近に見ることができました。

.....



12時に第一走者がスタートし、トラックを2周して競技場の外へ出ていくと、応援団はすぐに荷物をまとめて待たせていたバスに乗り込みます。ゴール地点へ先回りして、今度は最終走者を出迎える準備です。

先生と応援団の男女以外にバスに乗り込んだのは、わたしを含めて4、5名でした。大学の仙台での協力会の役員らしき人、駅伝に関係はなくとも子弟を大東文化に通わせている親御さんなどでしょうか。

私がバスに乗り込んでいくと、学生たちが男女を問わず「こんにちは」と声をかけてくれます。礼儀の良さには目を見張りま

.....

終了後、勾当台公園では学長まで参加して慰労の儀式がありましたが、先生は「出世には興味がない」と宣言し、学生たちと別れてさっさとエスケープ。せっかく仙台に来たのに、お酒を飲んで帰るだけでは申し訳が立たないと、わたしがボランティアをしている仙台市博物館に直行。雪舟展の最後の日を、一緒に見ることができました。

その後が一番のお目当て、二人宴会です。日曜日で店を探すのには苦労しましたが、

す。先生が話していました。「元気があって礼儀正しい」。これは現在の企業が学生に求めているもの、そのものなので、就活の中で応援団経験者の評価はたいへん高いそうです。

ゴール地点での大東文化の待機場所は、メディアテークの手前、定禅寺通りから2つ目くらいのビルの前でした。チアガールの数も多かったのも、周辺では大東文化が一番目を引いていたように思えます。わたしも徐々に恥ずかしい気持ちがなくなって、ここでは預けられたのぼりを振りまわしていました。

大東文化も下馬評では3位くらいに入っていたのですが、予想外のことがあったのか、成績は思わしくありませんでした。(1位～松山、2位～立命館)

なんとか先生のお眼鏡にもかなって、山海の幸と宮城の地酒に満足して頂けたようです。最後は二人とも記憶を失くすほど酔って別れました。

今年の夏には実習クラス全体の同窓会を仙台で開催する話になっています。



## 随想 「氷雨」 千葉繁明

晩秋の冷たい雨が今まで華やかに秋を彩っていた並木道をひっそりと包み込み、まき散らしたように散らばっている落ち葉が歩道を濡らしている。秋の名残の彩りを一枚の絵にしてみようと人通りも少ない通りを歩いていると、足早に女性が通り過ぎて行った。傘を手にセンスの良い着こなしが、冷たい雨の風景にしっとり溶け込んでいく。

こんな風景をスケッチして心の中にシャッターを切り、家に帰って仕上げたのが「氷雨」である。仕上がった絵は、賀状に添え今年の総仕上げとして息災を伝えることができた。賀状に添えた私の絵を楽しみにしているとよくいわれ、私の人生の楽しみの一つである。今年も新たに心に残る風景を求めて、また一つ年を重ねて彷徨(さまよう)つもりである。



### 平成29年度みつわ会東北支部総会の日程確定！

開催日：平成29年5月23日（火）午後4時～総会、5時～懇親会

会場：シエルブール（スマイルホテル国分町）…前回と同じ

出欠確認や詳細につきましては、次号で案内いたします。

一人でも多くの方の参加をお待ちしております。

## お元気ですか？

### 傷だらけの人生

### 三遊亭正春



徳江です。私はからダンスをやっていたんですが、今はやっていないですよ。お相手も年寄りばかりなのでね。また、マージャンも長く座っていると疲れて腰にも来てしまうので、今は短い時間で終わっています。

私は個人的には旅行が好きなので、今でも家内と出かけています。今は娘が市内にいたので、娘も一緒に出掛けています。娘がいないとちょっと怖くて・・・。

来月には作並温泉に出かけます。あと、米沢とか上山など近いところに出かけますね。月一回くらいは出かけていました。以前は

### お金を稼ぐ頭と体

### 林家秀夫



山形から来た丹野です。今回、小林さんが新会員になられてこの集まりにきつと出られるだろうと思って、私も参加しました。小林さんとは昔一緒に働いたもので。(残念ながらこの

時小林さんはトイレタイムで離席中でした)今、調停委員をやっていますが、調停には家事調停と民事調停があつて、家事調停は相続とか親権とか色々あるんですが、とても忙しいんですよ。私が関わっている民事調停は意外に忙しくなく月に3回程度なんですよ。それで何か他にやるかと思いいアルバイトの広告を見て何回か応募したんですが、アルバイトというのはみな65歳で切

## ～わたしは今～

(平成28年10月 南三島の集いより)

遠くに出かけていましてね、伊豆方面などにもよく行きました。150軒くらいは行ったかなあ～。この辺りは温泉が多いので、飯坂温泉などは20回くらい行っていますかね。

記念誌にも書きましたが、楽しみを見つながら人生を送っていますよ。最近、下級生や同級生の不幸が目立って来たものですからねえ。私の体は「上中下」すべて病気をもっていて手術などもしているもので、毎月医者通いが絶えないですが・・・でも、自分自身感心しながらここまでよく来たなと思っています。今は、仙台から来る支部便りを楽しみにしています。これからもよろしくお願いします。

っちゃうんですよ。どんなにこちら側が良くても年齢で切られるんですね。それで私が選んだのが「せいそうぎょう」。そう、掃除です。毎朝5時起きて、7時から11時まで清掃の仕事をしています。頭の方は調停で、肉体労働は清掃で・・・((笑)うまいこと言うねえ～、座布団3枚)。

元々、昼間どうやって過ごすかを考えて、あまり趣味がないものでスポーツジムとか考えたんですが、お金を払って鍛えるより肉体労働をしてお金をもらえるのは何だと考えた時に、清掃なんですね。仕事は私が一番上で、下は女性です。女性と言っても若いんですよ。女性は仕事が上手でね、「丹野さん、汚いんじゃないですか」と言われながらやってます。ということで、自分の健康を考えながら過ごしています。

四季のうた

「みちのくの伊達の郡の春田かな」(富安風生)



みちのくも伊達も懐かしい土地の名前。福島市一帯の穀倉地帯が伊達の郡。伊達家の先祖が源頼朝から拝領した土地である。残雪の山々に囲まれた盆地を阿武隈川は北へ流れる。やがて田んぼに水が張られ、夏にはいちめんの青田に変わる。

(長谷川權「四季のうた」第一集より)

＝ 幹 事 会 の 概 要 ＝

1月に開催した幹事会の概要をお知らせいたします。

◎場所を変更して実施した12月の忘年会の振り返りを行う。

◎新年会・現役との交流会・OG会の進捗状況の確認や進め方について話し合いを行う。

◎総会の日程や場所について話し合い、決定する。

＝ 今 後 の 行 事 予 定 ＝

みつわ会東北支部		みちのく損保	
3月14日(火)	幹事会	3月11日(土)	麻雀決勝大会
3月23日(木)	納会、場所：しゃぶ禅	3月16日(木)	北海道会
4月 下旬	ワインとサクラの会	3月25日(土)	音楽同好会
5月23日(火)	みつわ会東北支部総会		

☆ 3月定例昼食会 (納会) ☆

日 時：平成29年3月23日(木) 12時～

場 所：しゃぶ禅 (お間違えの無いように) 会 費：2000円

参加希望は3月7日(火)までに、090-7328-2005、022-272-9254 (村田 博)までご連絡下さい。

「**ワインとサクラ**を愛でる会」の続報！！

概 要：仙台駅8時集合。バスで山形・高島へ。ワイナリーで**ワイン**を堪能し、赤湯・烏帽子山公園の**サクラ**の下で美味しい食事とお酒を。仙台着17時の予定。

進め方：**2月末までに**参加者を確認します。(希望者は**阿部靖まで連絡を。**☎090-5590-5995)

日にちは2.3候補日を選定、開花情報を元に10日前に最終決定し各人に連絡。

例年の開花時期は4月下旬から5月上旬です。

その他：現地集合も可。当日欠席も可。